

にら栽培における防草シート活用による夏期の除草作業軽減効果の検証

要約

定植時に防草シートを展張したほ場（供試区）では、慣行栽培のほ場（対照区）と比べて夏期のハウス内除草に係る作業時間が3分の1程度に軽減された。全体の作業時間は供試区で軽減されたが、供試区では手植えのため定植作業に2時間程度要した。収量性については慣行栽培と同程度だった。

○ 展示のねらい

にらの定植後の除草作業に労力がかかり、その期間の出荷作業等ができず、各種作業の省力化を模索している。そこで、定植時にマルチを展張し、大苗を手植えで定植する栽培方法について、定植作業や除草作業等の労働時間削減効果や収量調査を行うことで地域に波及可能な栽培方法となり得るか検証を行う。

○ 主な成果

- ・ 播種日：令和2年3月23日 定植日：供試区令和6月24日、対照区令和5月28日
- ・ 供試区では1ハウス当たりの定植時の作業（防草シート展張～定植）に4時間かかったが、除草時間の軽減により全体の作業時間が軽減された（表1）。
- ・ 雑草が最も繁茂した9月上旬の除草作業時間が3分の1程度に軽減された（表2）。

表1 ハウス1棟当たりの各作業時間（作業時間の差異があるもの） ※ハウスは4.8m×33m

作業	防草シート		定植	除草作業	捨刈	マルチ展張	株出し	合計
	展張	穴開け						
供試区	1	1	2	3	3	—	—	10
対照区	—	—	0.5	8	2	1	2	13.5

表2 除草作業の内訳

作業	除草剤散布	除草			9月上旬の作業の詳細	
		7月上旬	7月下旬	9月上旬	作業時間帯	雑草の状態
供試区	0.5	0.5	—	2	7～9時	株出し穴からのみ発生
対照区	1	0.5	0.5	6	7～10時・16～19時	ハウス一面に雑草が繁茂

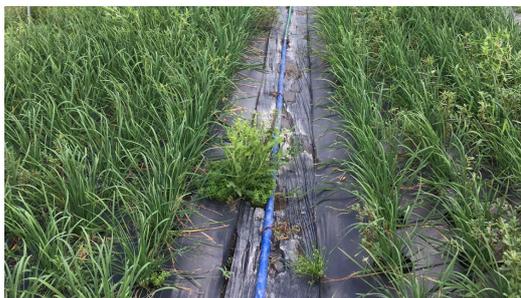


写真 雑草が繁茂した様子（左：供試区、右：対照区 8月下旬）

○ 今後の方向性

防草シートを使用したほ場において、2年株まで生育状況や収量性を確認し、周年での経営的な効果を分析する。

実施機関：河内農業振興事務所経営普及部 実施場所：宇都宮市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315